

○第3回研修会（小中別開催）

□小学部 [7月26日対面・オンライン開催]

○基礎研修

- ・異文化理解の学級づくりのために 若久小学校 小田先生

小田先生が実践された社会の学習について教えていただきました。「米作りのさかんな地域」の学習で、フィリピン女兒に自国の米作りについてクラスに向けてプレゼンをさせることで、児童は自分の国に誇りを持つことができ、クラスの児童はプレゼンから女兒の母国であるフィリピンの豊かさを知り、理解を深める実りある学習になっていました。大変参考になりました。

- ・保護者へのサポートについて 博多小学校 小西先生

小西先生が実践されているJSL児童保護者へのサポートについて詳しく教えていただきました。転入時の書類、生活関係、また転入後の行事、学習関係、その後の生活や学習の中で実践されている様々な支援を詳しく教えていただきました。実践にいかしていきたいと思います。

○本研修

「A:文字指導の研究」と「B:ICTを活用した指導」の研究グループで城浜小学校と春吉小学校に分かれて、対面での研修を行いました。研究の計画について各グループで各自考えてきたアイデアやプレゼンを持ち寄り、具体的に提案し合うことができました。年度末に良い形に残し、JSL研究会の財産にできるよう、各自で研究を進めていきたいです。

感想

[異文化理解の学級づくりのために]

○様々な教科で子ども達母国につなげる機会があることを改めて知り、担任の先生と協力しながら、在籍学級で理解が深まるようにしていきたいと思いました。

[保護者へのサポートについて]

○転入時から配慮することが分かりやすく整理されていて、とても勉強になりました。受け入れの時に日本の学校の決まり文句を伝えておくことはとても大切だと思いました。

[本研修について]

○事前にパワポを作って、当日、グループ統一するところで、各個人で変更するところなど十分グループで話し合うことができた。じっくり取り組めて良かったと思う。

□中学部 [7月12日高校訪問]

中学部では香住丘高等学校と沖学園高等学校の2校を訪問し、授業見学と情報交換を行いました。訪問先の高校に進学した生徒たちに再会し、成長している姿を見ることができました。また、それぞれの高校と情報交換を行い、各高校の特徴や外国ルーツの生徒に対する考え方等をよく理解することができました。今後も高校との情報交換を行い、生徒たちのキャリアを見通した進路指導を心掛けていきたいと改めて思った高校訪問研修でした。

感想

[香住丘高校] 生徒自らの努力によって学年末には、日本語の理解も進み授業について行けるようになることを知ることができて良かった。

[沖学園高校] 1週間に5時間、しかも3年間日本語の授業が行われている点も、日本語ゼロで中学校に来た生徒にとってはかなり安心材料だと思いました。